

# 令和4年度 特色ある道徳教育推進校

## 横芝光町立上堺小学校

### 研究主題 「学びをよりよい生き方につなぐ道徳教育を目指して」

～他者と対話し、協働しながら、主体的によりよい生き方を考える授業づくりを通して～

#### 取組1 他者と対話し、協働しながら、主体的によりよい生き方を考える授業づくり

##### 工夫1 様々な価値観に触れることのできる交流の場の工夫

- 学習内容と児童の日常をつなげる導入【⇒★1】
  - ・ 事前のアンケート（例：日常の出来事について、職業選択の視点について）
  - ・ 経験の共有（例：粘り強く練習した経験、行動しようとしてできなかった経験）
- 思考を深めるための構造的な板書【⇒★2】
- 考えを共有するための役割演技（例：全員が参加し、第三者の感じ方や考え方も共有）
- ゲストティーチャーの活用（例：町職員、保護者）【⇒★3】

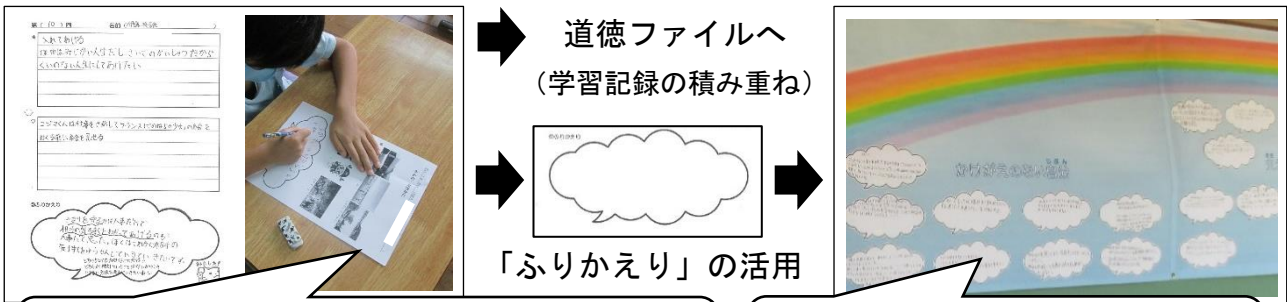


##### 工夫2 多面的・多角的な思考を引き出す場の工夫

- 発問の工夫（例：登場人物だったら、自分だったら）【⇒★4】
- 学びをつなぐ問い返し（例：一人の児童の発言を学級全体で共有）
- ICTの活用（例：心情や立場の可視化）【⇒★5】
- 保護者参加型の話し合い【⇒★6】
- 自分自身を振り返るための役割演技（例：主人公の立場で考える）
- 登場人物への手紙（例：第三者の立場で書く）



##### 工夫3 学習記録の積み重ねと学校統一ワークシートを活用した学級掲示



- ・ 学年の実態、学習内容に合わせた形式の工夫
- ・ 「ふりかえり」の統一
- ・ 書く活動の焦点化

- ・ 県の視点とねらいを基に4つの項目に分け、掲示
- ・ 多面的、多角的な視点の育成

#### 取組2 学校教育全体通した道徳教育の充実

##### 地域との連携

###### 地域公開



保護者、地域の方より

###### ゲストティーチャーの活用【★3】



あたり前に過ごしているけれど、家族のことを考えて、自分の存在の大切さに気付いてよかった。

###### 保護者参加型【★6】



一つの出来事について、様々な立場から考え、自分の考えを深めていたと思う。

## 全校行事

### 海岸清掃ボランティア



屋形海岸をきれいにできてうれしかった。

### ふれあいの会



相手の立場を考えて、親切にしようと思った。

## 日常生活での取組

### ありがとうの木



クラスや他の学年の友達に親切にしたい。

### みんなの生まれた日



お互いの命や存在を大切にしたい。

## 主な成果と課題

- 部会の組織化、視点を明確にした授業検討、相互参観、地域公開⇒教職員の授業力と意欲が向上し、授業改善を図ることができた。
- 児童の思考を深める場の工夫⇒新たな気付きや自分との関わりを基に、学んだことをどう生かしていけばよいのかを考えている様子を見取ることができた。
- 児童の心を揺さぶる発問の工夫・・・道徳的価値の理解と同時に、人間理解や他者理解についても深めることができるよう検討していく。
- 道徳科におけるICTの活用・・・発問への効果的なつなげ方や板書との使い分けなど、様々な手立てと関連させた活用の仕方について検討していく。
- 表現方法を工夫した振り返り・・・書くことに苦手意識のある児童や低学年の児童も、より自分との関わりの中で考えることができるよう、手立てを検討していく。

## 授業実践事例

### 小学校1年1組 道徳科学習指導案

令和4年11月2日(水)

- 1 主題名 勇気をだして A-(1)善悪の判断、自律、自由と責任 県の視点「かけがえのない自分」
- 2 ねらいと教材
  - (1) ねらい  
よいと思ったことは、恐れなくて勇気をもって行おうとする意欲や態度を養う。
  - (2) 教材名 「ダメ」(出典：東京書籍「あたらしい道徳1」)
- 3 主題設定の理由
  - (1) ねらいとする道徳的価値について  
価値観の多様な社会を主体的に生きる上で、人として行ってよいこと、社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別、判断する力は、児童が幼い時期から身に付けるべき大切な力である。しかし、周りの環境や利害関係、誘惑などによって行動が左右されてしまうことは少なくない。それらにとらわれないための原動力の一つとなるのが勇気である。自分が正しいと判断したことについて勇気をもって行動するという体験を積み重ねていくことは、自信にもつながり、何事にも積極的に取り組む姿勢を育てていくと考える。
  - (2) 児童の実態について  
様々な友達との関わりが増えてきている中で、よくない行動を見たときや嫌な思いをしたときに、自分の思いをうまく言葉にすることができなかつたり、教師を頼ったりする児童もいる。中には、感情的になったり、手を出してしまったりする児童もおり、トラブルに発展することも少なくない。このようなことが繰り返されたり、伝えたことが失敗体験として残ったりすることで、行動を抑えてしまう恐れがある。また、相手の気持ちや立場を気にして言えない児童もいる。相手に配慮しながら伝えられることを知ることで、行動しようという気持ちを高めることができる。

と考える。よいと思うことを進んで行うよさや難しさについて考えるとともに、伝え方についても触れることで、勇気をもって行動しようとする意欲を高めたい。

(3) 教材について

主人公のぼくは、体も声も大きなくまくんに、何でも譲っている。「ダメ」と言うことができずに悔しい思いをしていた。くまくんに自分の気持ちを伝えるかどうか葛藤し、勇気を振り絞って行動する。後日、二人が楽しそうに笑い合う場面で話は終わる。指導にあたっては、ぼくの葛藤する心を想像させながら読ませていく。その際、くまくんの気持ちも考えることで、多面的・多角的に捉え、よりよい行動について考えさせたい。そして、勇気を出して自分の思いを伝え、仲よくなった二人の姿から、前向きな気持ちをもたせて学習を終わりたい。

4 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	指導上の留意点 評価 (☆)
導入 (5)	<p>1 ねらいとなる道徳的価値について、問題意識をもつ。</p> <p>○列に並んでいたら、友達に割り込みをされてしまいました。あなたは、「ダメだよ」と言いますか。</p> <p>いやなことをされたとき、どうすればいいのかな？</p>	<p><b>映像資料参照</b></p> <p><b>言う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ずるいから言う。</li> <li>・いけないことだから。</li> </ul> <p><b>言わない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達だから言わない。</li> <li>・みんなが言っているのに、私まで言ったら悲しくなるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果を提示し、自分との関わりで問題意識をもたせ、本時の学習への方向付けをする。</li> <li>・様々な価値観の友達がいることに気づき、多様な視点をもって学習に臨めるようにする。 【★1】</li> </ul>
展開 (10)	<p>2 教材文(前半)を聞いて問題場面について考える。</p> <p>○くまくんがりすくんのプリンを食べたとき、りすくんとくまくんの心の色は何色だったでしょう。また、どうしてその色にしたのですか。</p> <p>○迷っているりすくんに何と言ってあげたいですか。</p>	<p><b>りすくん</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♥ 食べられなくて嫌だ。</li> <li>♥ くまくんが怖い。</li> <li>♥ 「ダメ」って言ったら悲しむかも。</li> </ul> <p><b>くまくん</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♥ りすくんのプリンを食べてあげた。</li> <li>♥ プリンをいっぱい食べられた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勇気を出して。</li> <li>・言った方がいいよ。</li> </ul> <p><b>映像資料参照</b></p>	<p><b>※ 心の色に関わる発問についての手立て</b></p> <p>※1 タブレットを用いて気持ちを色で可視化し、二人の思いが分かるようにする。また、その理由を学級全体で共有することで友達と考えを比較できるようにする。 【★5】</p> <p>※2 選んだ理由を、その色のハートとともに時系列で板書し、よりよい行動について考える手掛かりとする。 【★2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ダメ」と言えなかったことが悔しかったことをおさえる。</li> <li>・視点を変えた発問をし、自分との関わりで捉えられるようにする。 【★4】</li> <li>・登場人物の思いについて友達の意見と比べながら聞くように助言する。</li> <li>・くまくんがりすくんに嫌な思いをさせてしまって</li> </ul>
(10)	<p>3 教材文(後半)を聞いて、主題について考える。</p> <p>○「プリン食べて、ごめん」とくまくんが謝っ</p>	<p><b>りすくん</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♥ 謝ってくれてすっき</li> </ul>	

	てくれたとき、りすくんとくまくんの心の色は何色だったでしょう。また、どうしてその色にしたのですか。	りした。 ♡ 言わなければよかったかな。 くまくん ♡ ごめんね。りすくん。 ♡ 早く言ってくればよかったのに。	いたことに気付いたことをおさえる。 ※1 ※2
(10)	○二人がいちごを食べているとき、心の色は何色だったでしょう。また、どうしてその色にしたのですか。	りすくん ♡ 仲よくなれた。 くまくん ♡ りすくんが、許してくれてよかった。	・りすくんとくまくんが、2人ともよい気持ちになったことをおさえる。 ※1 ※2
(5)	◎りすくんとくまくんが、仲よくなれたのはどうしてですか。	・くまくんが謝ってくれたから。 ・嫌だったことをくまくにちゃんと言ったから。 <b>映像資料参照</b>	・板書を振り返りながら、伝え方やタイミングにも意識が向くようにする。 ★自分の思いを伝えることで、気持ちが晴れやかになることを考えている。
終末	4 学習を振り返る。		★よいと思ったことは、恐れないうで、勇気をもって行動しようと考えている。
(5)	○これから嫌なことをされたとき、みんなはどうしますか。	・ダメだと教えてあげた方が、仲よくなれる。 ・ドキドキするけど、勇気を出して言うしてみる。	

### (5) 他の教育活動との関連

国語「としょかんにいこう」 学級活動「雨の日の遊び」 校外学習  
休み時間・掃除・給食（年間）

## 5 授業の様子

### (1) 板書



### (2) 児童の様子

#### アンケート結果による新たな気付き

問題場面について多面的・多角的な視点で考える手掛かりとなった。

#### ICTの活用による可視化と思考の深まり

心情の可視化や効果的な問い返しによって、その根拠について活発な意見交流が行われた。

